

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【公開番号】特開2011-31100(P2011-31100A)

【公開日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-007

【出願番号】特願2010-261050(P2010-261050)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月21日(2011.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、該可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技状態を遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させることが可能な遊技制御手段と、

前記可変表示装置の表示結果が導出表示される前の段階において、前記入賞の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記可変表示装置の変動を停止させて表示結果を導出させる際に操作される停止操作手段と、

前記事前決定手段の決定結果及び前記停止操作手段の操作態様に基づき前記可変表示装置に表示結果を導出させる制御を行う可変表示制御手段と、

前記可変表示装置の表示結果に基づき前記入賞が発生したか否かの判定を行う表示結果判定手段と、

前記特別遊技状態とは異なる遊技状態であって、遊技者にとって有利な遊技状態である特定遊技状態に制御することが可能な特定遊技状態制御手段と、

を備え、

前記可変表示制御手段は、前記事前決定手段により所定の遊技価値の付与を伴う所定の入賞の発生を許容する旨が決定された場合において、前記停止操作手段が第 1 の操作態様で操作された場合に前記所定の入賞に対応する表示結果を導出させる制御を行い、前記停止操作手段が前記第 1 の操作態様とは異なる第 2 の操作態様で操作された場合に前記所定の入賞に対応しない表示結果を導出させる制御を行い、

前記事前決定手段により前記所定の入賞の発生を許容する旨が決定された場合において該所定の入賞に対応しない表示結果が導出されることとなる前記第 2 の操作態様は、予め決められた操作態様であり、

前記スロットマシンは、前記事前決定手段の決定により前記所定の入賞の発生が許容され、かつ前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生していないと判定され、前記所定の遊技価値が付与されなかった場合に、前記特定遊技状態が発生可能

な発生可能状態に制御し、前記事前決定手段の決定により前記所定の入賞の発生が許容され、かつ前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生したと判定され、前記所定の遊技価値が付与された場合に、前記発生可能状態に制御しない発生可能状態制御手段をさらに備え、

前記特定遊技状態制御手段は、前記発生可能状態において所定条件が満たされたことを条件に前記特定遊技状態に制御する

ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、これら内部抽選を行うスロットマシンにおいては、前記内部抽選において入賞の発生が許容されているにも関わらず、例えば、リール上の図柄の配列状況等のその他の要素により、実際にはいずれの賞にも入賞しない場合、いわゆる取りこぼしが発生する場合があります、このような取りこぼしが頻繁に発生してしまうと、内部抽選によっては一定の遊技価値を獲得し得る機会が与えられているにも関わらず、結果的に獲得できる遊技価値が減少してしまうという問題があった。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記課題を解決するために、本発明のスロットマシンは、

１ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより１ゲームが終了し、該可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技状態を遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させることが可能な遊技制御手段と、

前記可変表示装置の表示結果が導出表示される前の段階において、前記入賞の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記可変表示装置の変動を停止させて表示結果を導出させる際に操作される停止操作手段と、

前記事前決定手段の決定結果及び前記停止操作手段の操作態様に基づき前記可変表示装置に表示結果を導出させる制御を行う可変表示制御手段と、

前記可変表示装置の表示結果に基づき前記入賞が発生したか否かの判定を行う表示結果判定手段と、

前記特別遊技状態とは異なる遊技状態であって、遊技者にとって有利な遊技状態である特定遊技状態に制御することが可能な特定遊技状態制御手段と、

を備え、

前記可変表示制御手段は、前記事前決定手段により所定の遊技価値の付与を伴う所定の入賞の発生を許容する旨が決定された場合において、前記停止操作手段が第１の操作態様で操作された場合に前記所定の入賞に対応する表示結果を導出させる制御を行い、前記停止操作手段が前記第１の操作態様とは異なる第２の操作態様で操作された場合に前記所定の入賞に対応しない表示結果を導出させる制御を行い、

前記事前決定手段により前記所定の入賞の発生を許容する旨が決定された場合において該所定の入賞に対応しない表示結果が導出されることとなる前記第２の操作態様は、予め

決められた操作態様であり、

前記スロットマシンは、前記事前決定手段の決定により前記所定の入賞の発生が許容され、かつ前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生していないと判定され、前記所定の遊技価値が付与されなかった場合に、前記特定遊技状態を発生可能な発生可能状態に制御し、前記事前決定手段の決定により前記所定の入賞の発生が許容され、かつ前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生したと判定され、前記所定の遊技価値が付与された場合に、前記発生可能状態に制御しない発生可能状態制御手段をさらに備え、

前記特定遊技状態制御手段は、前記発生可能状態において所定条件が満たされたことを条件に前記特定遊技状態に制御する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、前記事前決定手段の決定により前記所定の入賞の発生が許容されているにも関わらず、前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生していないと判定された場合、すなわち取りこぼしが発生した場合において、遊技者にとって有利な特定遊技状態となり得る機会が与えられる可能性があるため、遊技者の期待感を高めることができ、これにより遊技の興味が低減してしまうことを極力回避することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

(a) 請求項1項の発明によれば、前記事前決定手段の決定により前記所定の入賞の発生が許容されているにも関わらず、前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生していないと判定された場合、すなわち取りこぼしが発生した場合において、遊技者にとって有利な特定遊技状態となり得る機会が与えられる可能性があるため、遊技者の期待感を高めることができ、これにより遊技の興味が低減してしまうことを極力回避することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0022
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0023
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0024
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0183
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0183】

本発明の請求項1は、

1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置50の表示結果が導出表示されることにより1ゲームが終了し、該可変表示装置50の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシン1において、

遊技状態を遊技者にとって有利な特別遊技状態（ビッグボーナス（BB）状態、レギュラーボーナス（RB）状態）に移行させることが可能な遊技制御手段（制御部210）と、

前記可変表示装置50の表示結果が導出表示される前の段階において、前記入賞の発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（制御部210）と、

前記可変表示装置の変動を停止させて表示結果を導出させる際に操作される停止操作手段（ストップボタン40L、40C、40R）と、

前記事前決定手段（制御部210）の決定結果及び前記停止操作手段の操作態様に基づき前記可変表示装置50に表示結果を導出させる制御を行う可変表示制御手段（制御部210）と、

前記可変表示装置50の表示結果に基づき前記入賞が発生したか否かの判定を行う表示結果判定手段（制御部210）と、

前記特別遊技状態（BB状態、RB状態）とは異なる遊技状態であって、遊技者にとって有利な遊技状態である特定遊技状態（AT状態）に制御することが可能な特定遊技状態制御手段（制御部230）と、

を備え、

前記可変表示制御手段は、前記事前決定手段により所定の遊技価値の付与を伴う所定の入賞（リプレイ）の発生を許容する旨が決定された場合において、前記停止操作手段（ストップボタン40L、40C、40R）が第1の操作態様（逆押し）で操作された場合に前記所定の入賞（リプレイ）に対応する表示結果を導出させる制御を行い、前記停止操作

手段（ストップボタン４０Ｌ、４０Ｃ、４０Ｒ）が前記第１の操作態様とは異なる第２の操作態様（順押し）で操作された場合に前記所定の入賞（リプレイ）に対応しない表示結果を導出させる制御を行い、

前記事前決定手段により前記所定の入賞（リプレイ）の発生を許容する旨が決定された場合において該所定の入賞（リプレイ）に対応しない表示結果が導出されることとなる前記第２の操作態様は、予め決められた操作態様であり、

前記スロットマシンは、前記事前決定手段（制御部２１０）の決定により前記所定の入賞の発生が許容され、かつ前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生していないと判定され、前記所定の遊技価値が付与されなかった場合に、前記特定遊技状態（ＡＴ状態）を発生可能な発生可能状態に制御し、前記事前決定手段（制御部２１０）の決定により前記所定の入賞の発生が許容され、かつ前記表示結果判定手段により当該許容に対応した所定の入賞が発生したと判定され、前記所定の遊技価値が付与された場合に、前記発生可能状態に制御しない発生可能状態制御手段をさらに備え、

前記特定遊技状態制御手段は、前記発生可能状態において所定条件が満たされたことを条件に前記特定遊技状態に制御する。

【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８４】

本発明は、少なくとも前記特定遊技状態制御手段（制御部２３０）と特定遊技状態決定手段（制御部２３０）とが、前記遊技制御手段（制御部２１０）とは別個に形成されている。

【手続補正１５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８５】

本発明は、演出手段（遊技効果ランプ１３０～１３４、スピーカ１３６ａ、１３６ｂ、１３７、液晶表示器１３５、リールランプ５５等）が実施する演出を制御する演出制御手段（制御部２３０）を備え、該演出制御手段（制御部２３０）が少なくとも前記特定遊技状態制御手段と特定遊技状態決定手段とを備える。

【手続補正１６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８６】

本発明は、前記入賞には異なる複数の入賞態様があり、前記事前決定手段（制御部２１０）の決定により前記複数の入賞態様のうち所定の入賞態様による入賞の発生が許容され、かつ前記表示結果判定手段（制御部２１０）により前記所定の入賞態様による入賞が発生していないと判定された場合において、前記特定遊技状態決定手段（制御部２３０）が特定遊技状態（ＡＴ状態）に制御するか否かの決定を行うことが可能である。

【手続補正１７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 8 7 】

本発明は、前記事前決定手段（制御部 2 1 0）による決定において前記所定の入賞態様の入賞の発生が許容される確率が一定である。

【 手続補正 1 8 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 8 8 】

本発明は、前記許容に対応した入賞が発生していないと判定された場合において、その旨の報知を行うようになる。

【 手続補正 1 9 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 8 9 】

本発明は、所定の操作が行われることにより、前記入賞の発生が許容されている場合であっても所定の確率で当該許容に対応した入賞を発生させないようにする。

【 手続補正 2 0 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 9 0 】

本発明は、前記可変表示装置 5 0 は、可変表示する複数列の可変表示部（リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R）から構成されているとともに、前記所定の操作が該可変表示部（リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R）の所定の停止順となる停止操作とされており、前記可変表示部（リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R）を、前記所定の停止順として該可変表示部（リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R）が自動停止する際の停止順で停止させた場合に前記許容に対応した入賞を発生させないようにする確率が、他の停止順で停止させた場合に比較して高確率である。

【 手続補正 2 1 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 9 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 9 1 】

本発明は、前記特定遊技状態が、前記可変表示装置 5 0 の表示結果が導出表示される前の段階において、前記許容された入賞の種類の報知を行うことが可能な当選状況報知遊技状態（A T 状態）である。